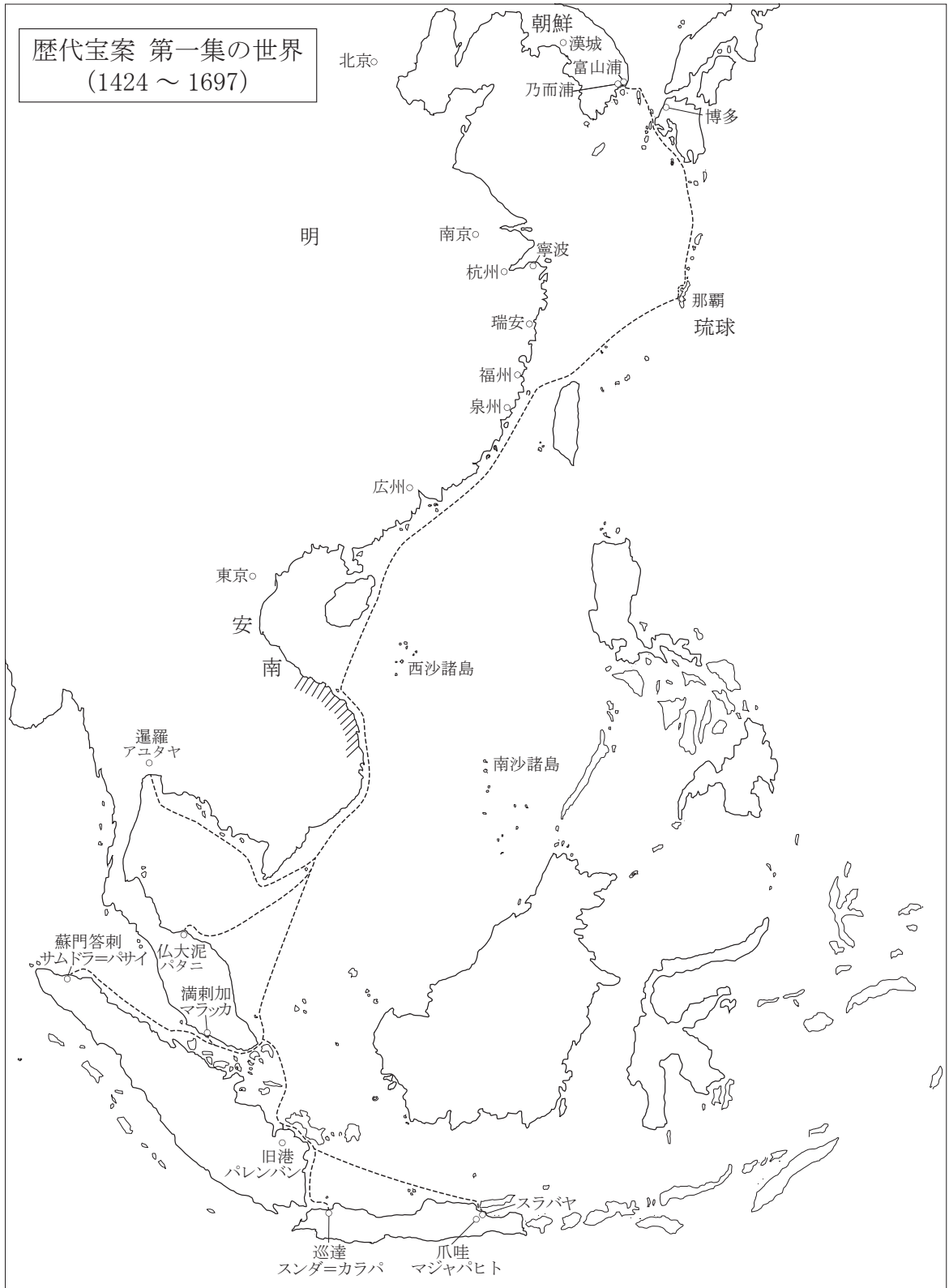


歴代宝案 第一集の世界
(1424 ~ 1697)



(平凡社地図出版編『ASAHI ORIGINAL デュアル・アトラス [2022-2023年度版] 日本・世界地図帳』2022年を参考に作成)

本図の琉球船の航路は、東南アジア方面については『瀛涯勝覽』『順風相送』『東西洋考』など明代の航海資料を、朝鮮方面については『海東諸国紀』を参照して推定した。なおベトナム中部地方の斜線部は、安南への寄航予定地がその範囲内にあったと推定されることを示す(次項の表*2を参照)。

表 『歴代宝案』第1集の東南アジア・朝鮮関連文書

国・地域	寄航地	文書数	年代
暹羅国	アユタヤ	58	1425～1570
三仏斉国(旧港)	パレンバン	11	1428～1440
爪哇国	スラバヤ*1	6	1430～1442
蘇門答刺国	サムドラ=パサイ	3	1463～1468
満刺加国	マラッカ	19	1463～1511
巡達国	スンダ=カラパ	2	1513～1518
仏大泥国	パタニ	8	1515～1543
安南国	不明*2	1	1509
朝鮮国	乃而浦、富山浦*3	19	1431～1638*4

※本表の文書数は、当該国・地域に関連するという事実のみにもとづいて集計したもので、文書の送達・到着の有無などの諸事情は考慮していない。

※『歴代宝案』の第一集には、1443～1461年の18年間にわたる全文書が欠落している。なお唯一の例外である尚泰久冊封の詔〔1-01-01〕(1455年)は、1697年の『歴代宝案』第一集編纂の後に追加収録されたと推定されている。

- *1 当時の爪哇国(マジャパヒト国)の外港はスラバヤであり、琉球船の寄航地は従来比定されているグレシクではないと考えられる。なお従来の琉球の交易関係図のグレシクの位置は誤りで、同地はジャワ島東北部のマドウラ島の対岸、スラバヤのやや北方にある。
- *2 安南国あての唯一の文書は暹羅へ派遣された貿易船・使者に託されたもので、あて先の人物が何者か、寄航予定地・寄航の有無などは不明。ただし当時の安南国内の情勢や琉球船の航路からみて、寄港予定地はベトナム中部地方(付録の地図の斜線を施した一帯)に位置するいずれかの海港と推測される。
- *3 乃而浦(齊浦)は現在の慶尚南道鎮海(チンヘ)市城内(ソンネ)洞熊川(ウンチョン)、富山浦は現在の慶尚南道釜山(プサン)市である。
- *4 1597年以降の文書は、北京会同館において両国の朝貢使節が手交する前提で作成されており、事情により届かなかったものがある。

別表 『歴代宝案』第1集の東南アジア・朝鮮関連文書（詳細一覧）

暹羅国

通番	発出年	文書番号	文書発信元
1	洪熙元 (1425) 年 月 日	1-40-01	琉球国
2	" 元 (1425) 年 月 日	1-40-02	"
3	" 2 (1426) 年9月10日	1-40-03	"
4	宣徳2 (1427) 年9月17日	1-40-04	"
5	" 3 (1428) 年9月2日	1-40-05	"
6	" 4 (1429) 年10月10日	1-40-07	"
7	" 4 (1429) 年10月10日	1-40-08	"
8	" 5 (1430) 年3月21日	1-39-01	暹羅国
9	" 6 (1431) 年9月3日	1-40-11	琉球国
10	" 7 (1432) 年9月9日	1-40-12	"
11	" 7 (1432) 年9月30日	1-40-13	"
12	" 8 (1433) 年9月18日	1-40-14	"
13	" 8 (1433) 年9月18日	1-40-15	"
14	" 8 (1433) 年10月3日	1-40-16	"
15	" 9 (1434) 年9月26日	1-40-17	"
16	" 9 (1434) 年9月26日	1-40-18	"
17	" 10 (1435) 年9月12日	1-40-19	"
18	正統元 (1436) 年10月1日	1-40-20	"
19	" 2 (1437) 年8月16日	1-40-21	"
20	" 2 (1437) 年8月16日	1-40-22	"
21	" 3 (1438) 年10月4日	1-40-24	"
22	" 3 (1438) 年10月 日	1-43-17	"
23	" 4 (1439) 年4月9日	1-40-25	"
24	" 7 (1442) 年10月5日	1-40-29	"
25	天順8 (1464) 年8月9日	1-41-03	"
26	" 8 (1464) 年8月9日	1-41-04	"
27	成化元 (1465) 年8月15日	1-41-06	"
28	" 元 (1465) 年8月15日	1-41-07	"
29	" 5 (1469) 年8月15日	1-41-15	"
30	" 15 (1480) 年カ	1-39-14	暹羅国
31	" 16 (1480) 年3月23日	1-39-11	"
32	" 16 (1480) 年3月23日	1-39-12	"
33	" 16 (1480) 年4月12日	1-39-13	"
34	" 17 (1481) 年3月15日	1-39-16	"
35	" 17 (1481) 年3月15日	1-39-17	"
36	正徳4 (1509) 年8月18日	1-42-02	琉球国
37	" 4 (1509) 年10月9日	1-42-04	"
38	" 7 (1512) 年8月13日	1-42-08	"
39	" 8 (1513) 年8月7日	1-42-09	"
40	" 9 (1514) 年8月13日	1-42-11	"
41	" 10 (1515) 年8月12日	1-42-13	"
42	" 12 (1517) 年9月15日	1-42-15	"
43	" 13 (1518) 年9月18日	1-42-16	"
44	" 13 (1518) 年9月18日	1-42-17	"
45	" 15 (1520) 年8月19日	1-42-21	"
46	" 16 (1521) 年9月7日	1-42-22	"
47	嘉靖5 (1526) 年8月15日	1-42-23	"
48	" 8 (1529) 年8月15日	1-42-26	"
49	" 12 (1533) 年8月20日	1-42-28	"
50	" 15 (1536) 年8月14日	1-42-29	"
51	" 16 (1537) 年8月20日	1-42-30	"
52	" 17 (1538) 年10月3日	1-42-31	"

53	嘉靖19 (1540)	年9月12日	1-42-32	琉球国
54	" 20 (1541)	年9月7日	1-42-33	"
55	" 29 (1550)	年10月8日	1-42-35	"
56	" 33 (1554)	年11月6日	1-42-36	"
57	" 43 (1564)	年10月8日	1-42-37	"
58	隆慶4 (1570)	年カ	1-42-38	"

三仏齐国 (旧港)

通番	発出年		文書番号	文書発信元
1	宣徳3 (1428)	年9月24日	1-40-06	琉球国
2	" 3 (1428)	年9月24日	1-42-01	"
3	" 3 (1428)	年10月5日	1-43-04	"
4	" 5 (1430)	年10月18日	1-43-08	"
5	" 5 (1430)	年10月18日	1-43-09	"
6	" 6 (1431)	年2月3日	1-43-10	三仏齐国
7	" 6 (1431)	年2月3日	1-43-11	"
8	正統3 (1438)	年10月4日	1-43-15	琉球国
9	" 3 (1438)	年10月26日	1-43-16	"
10	" 5 (1440)	年9月 日	1-43-22	"
11	" 5 (1440)	年10月4日	1-43-23	"

爪哇国

通番	発出年		文書番号	文書発信元
1	宣徳5 (1430)	年10月18日	1-40-09	琉球国
2	正統3 (1438)	年 月 日	1-40-23	"
3	" 5 (1440)	年10月16日	1-40-26	"
4	" 6 (1441)	年4月19日	1-40-27	"
5	" 6 (1441)	年7月6日	1-40-28	"
6	" 7 (1442)	年10月5日	1-40-30	"

蘇門答刺国

通番	発出年		文書番号	文書発信元
1	天順7 (1463)	年8月4日	1-41-02	琉球国
2	成化3 (1467)	年8月 日	1-41-10	"
3	" 4 (1468)	年8月15日	1-41-13	"

満刺加国

通番	発出年		文書番号	文書発信元
1	天順7 (1463)	年8月4日	1-41-01	琉球国
2	" 8 (1464)	年8月9日	1-41-05	"
3	成化元 (1465)	年8月15日	1-41-08	"
4	" 2 (1466)	年 月	1-41-09	"
5	" 3 (1467)	年3月20日	1-39-04	満刺加国
6	" 3 (1467)	年8月 日	1-41-11	琉球国
7	" 4 (1468)	年8月15日	1-41-12	"
8	" 5 (1469)	年1月26日	1-39-07	満刺加国
9	" 5 (1469)	年8月15日	1-41-14	琉球国
10	" 6 (1470)	年3月 日	1-39-08	満刺加国
11	" 6 (1470)	年 月	1-41-16	琉球国
12	" 8 (1472)	年9月20日	1-41-18	"
13	" 8 (1472)	年9月28日	1-41-19	"
14	" 16 (1480)	年2月 日	1-39-09	満刺加国
15	" 16 (1480)	年3月2日	1-39-10	"
16	" 17 (1481)	年3月 日	1-39-15	"
17	正徳4 (1509)	年8月18日	1-42-03	琉球国
18	" 5 (1510)	年8月19日	1-42-06	"
19	" 6 (1511)	年8月13日	1-42-07	"

巡達国

通番	発出年	文書番号	文書発信元
1	正徳8 (1513) 年8月7日	1-42-10	琉球国
2	〃 13 (1518) 年9月18日	1-42-18	〃

仏大泥国

通番	発出年	文書番号	文書発信元
1	正徳10 (1515) 年8月12日	1-42-12	琉球国
2	〃 11 (1516) 年9月13日	1-42-14	〃
3	〃 14 (1519) 年8月17日	1-42-19	〃
4	〃 15 (1520) 年8月19日	1-42-20	〃
5	嘉靖5 (1526) 年8月15日	1-42-24	〃
6	〃 8 (1529) 年2月11日	1-42-25	〃
7	〃 9 (1530) 年8月21日	1-42-27	〃
8	〃 22 (1543) 年9月28日	1-42-34	〃

安南国

通番	発出年	文書番号	文書発信元
1	正徳4 (1509) 年10月9日	1-42-05	琉球国

朝鮮国

通番	発出年	文書番号	文書発信元
1	宣徳6 (1431) 年6月19日	1-40-10	琉球国
2	〃 6 (1431) 年12月 日	1-39-02	朝鮮国
3	天順5 (1461) 年7月7日	1-39-03	〃
4	成化3 (1467) 年4月2日	1-39-05	〃
5	〃 3 (1467) 年8月19日	1-39-06	〃
6	〃 6 (1470) 年4月1日	1-41-17	琉球国
7	万曆25 (1597) 年8月6日	1-39-18	朝鮮国
8	〃 29 (1601) 年8月7日	1-39-19	〃
9	〃 34 (1606) 年8月13日	1-39-20	〃
10	〃 40 (1612) 年カ	1-41-20	琉球国
11	〃 49 (1621) 年カ	1-41-21	〃
12	天啓3 (1623) 年閏10月16日	1-41-22	〃
13	〃 3 (1623) 年閏10月16日	1-41-23	〃
14	〃 6 (1626) 年12月23日	1-39-21	朝鮮国
15	崇禎元 (1628) 年7月11日	1-39-22	〃
16	〃 4 (1631) 3月	1-41-24	琉球国
17	〃 7 (1634) 7月22日	1-39-23	朝鮮国
18	〃 9 (1636) 年 月 日	1-41-25	琉球国
19	〃 11 (1638) 年	1-41-26	〃

※文書発出の年号・月・日は原文のままとする。ただし、年号のみに（ ）で西暦を付した。